

令和2年度 緑の環境調査

# 佐久市生きものさがし



## 調査報告書

令和3年3月

佐久市 環境政策課



# 目 次

はじめに・生物多様性とは	1
調査方法・内容・期間・報告数	2
分布図の見方・注意	3
第1章 調査対象種	
1 フクロウ	4
2 オオムラサキ	6
3 サクラソウ	8
4 バッタ類	10
イナゴ科	12
第2章 調査対象種以外	14
調査員から寄せられた メッセージ	33
考察専門員の先生から	34
まとめ	35

## はじめに

「緑の環境調査」は、市の自然環境の状態を探るとともに、環境保全に対する市民の皆さんの意識高揚を図る目的で、平成4年度から実施しています。

毎年度調査対象種を選定し、市民の皆さんからの目撃・確認報告をしていただくことで、市内の生物多様性を把握する基礎資料となっています。

平成30年3月に、「佐久市生物多様性地域戦略」を包含した市の環境行政の基礎となる「第二次佐久市環境基本計画」を策定しました。

その中で指標生物に定められた11種の中から3種と、市内各地で観察が可能な1種を選定し、今年度の「佐久市生きものさがし」を実施しました。

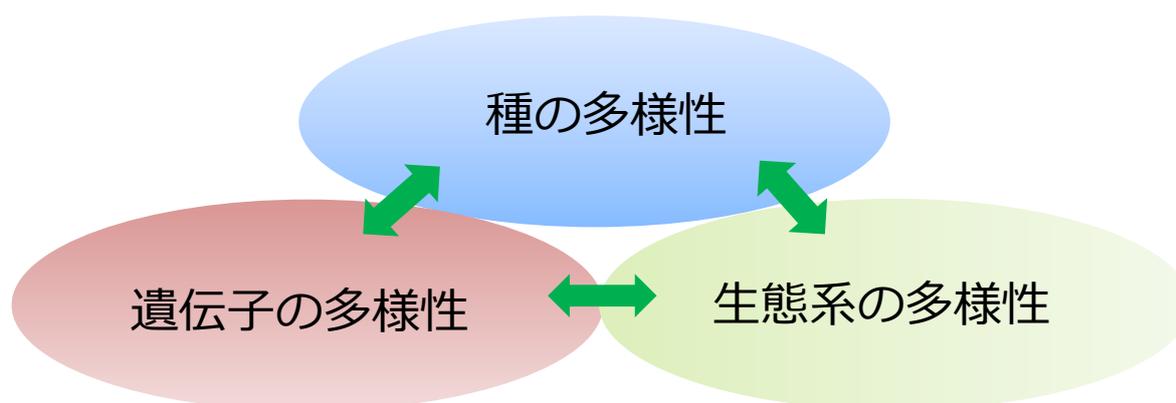
## 生物多様性とは

生物多様性とは、生物の豊かな個性のつながりのことです。地球上の生物は40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生物が生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的・間接的に支えあって生きています。

生物の多様性に関する条約では、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルで多様性があるとしています。

生物多様性の保全には、地球温暖化対策と同様、早急な対応が必要です。

## 多様性の3つのレベル



生態系の多様性：草地や森林、海洋などさまざまな生態系のこと

種の多様性：さまざまな動植物が生息・生育していること

遺伝子の多様性：同じ種でも個体ごとに遺伝子がさまざまであること

## 調査方法

報告は、ハガキ、メール、電話、FAXにて募集しました。  
また、市立図書館や佐久市子ども未来館にも報告コーナーを設けました。  
その他に、学校や家庭での地球温暖化防止に向けた活動を推進するため、「わが家のエコ課長」を委嘱している市内の小学4年生の皆さんにもご協力いただきました。

### 調査票



### コーナーの様子



## 調査内容

佐久市内で見つけた、調査対象種4種とめずらしい生きものや見たことのない生きもの、見つけた生きものについて、「種類」「場所・環境」「日にち」「数・特徴」「気づいたこと・感想」を報告していただきました。

## 調査期間

令和2年4月1日～令和2年12月31日

## 報告数

**1,333件**

※1つの生きものを1件とする。

(内訳) 一般： 341件

小学生： 992件

## 分布図の見方

結果の分布図は、報告により場所が分かるものを記載しています。

したがって、報告で場所が特定できなかったものは記載していません。

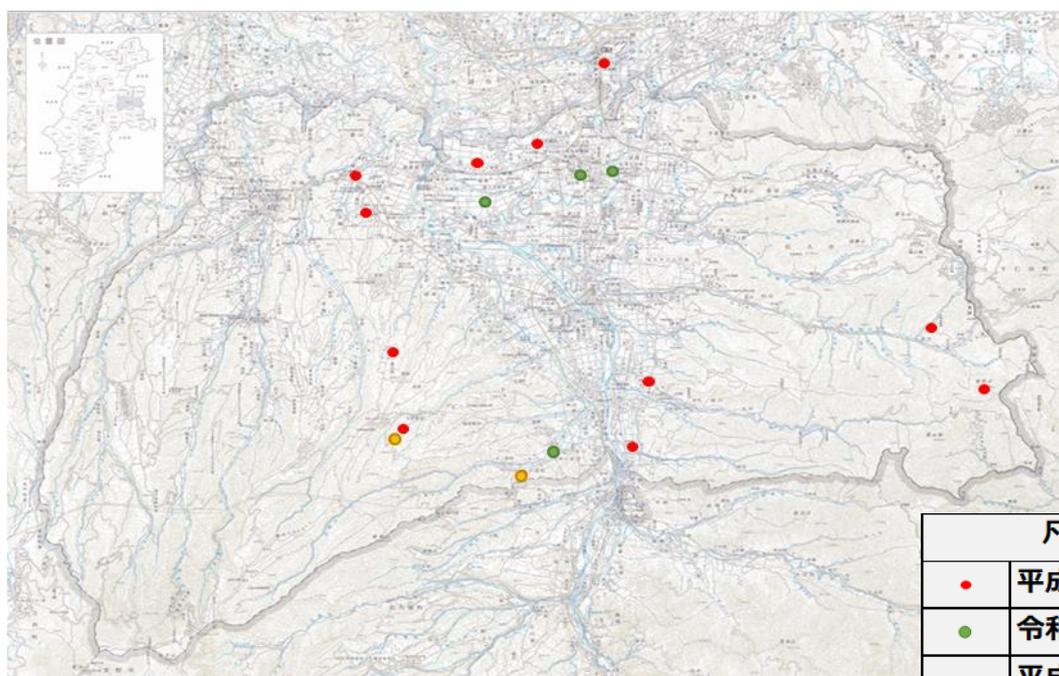
また、同一地点で複数の報告があった生きものもいます。

そのため、報告件数と分布図上の地点数は一致していません。

また、赤色の点は平成28年度報告地点、緑色の点は令和2年度報告地点、黄色の点は平成28年度と令和2年度の2か年で報告のあった地点です。

(下図参照)

(例図) 報告件数12件、場所の特定ができた報告7件(同一地点2か所)、報告場所不明件数5件



凡例	
●	平成28年度
●	令和2年度
●	平成28年度と 令和2年度

## 注意

この調査は市民の皆さんにご協力いただき、身近な場所や出かけた先で見つけた生きものを報告していただいています。

そのため、どこにどんな生きものがいたかということを示すものであり、そこにいる数を示すものではありません。

また、市内全域について調査を行っているものではないため、記載のない場所にその生きものはいないということを示すものではないということをご了承ください。

## 第1章 調査対象種

### 1 フクロウ類

#### 特徴

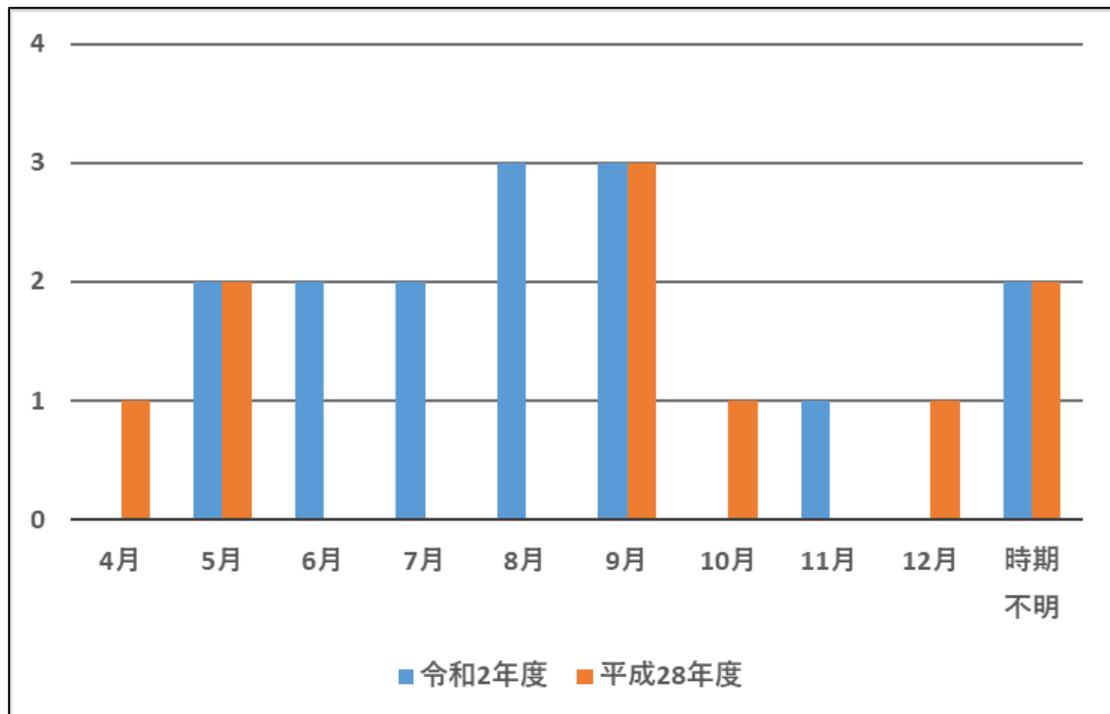
- ・フクロウ目フクロウ科
- ・大きさは、種類によって20～60cm程度とさまざま
- ・低山から山地の林に棲む。大木のうろに営巣する
- ・夜中に活動するが、昼間に見られることもある
- ・「ゴロスケ、ホッホ」と鳴く



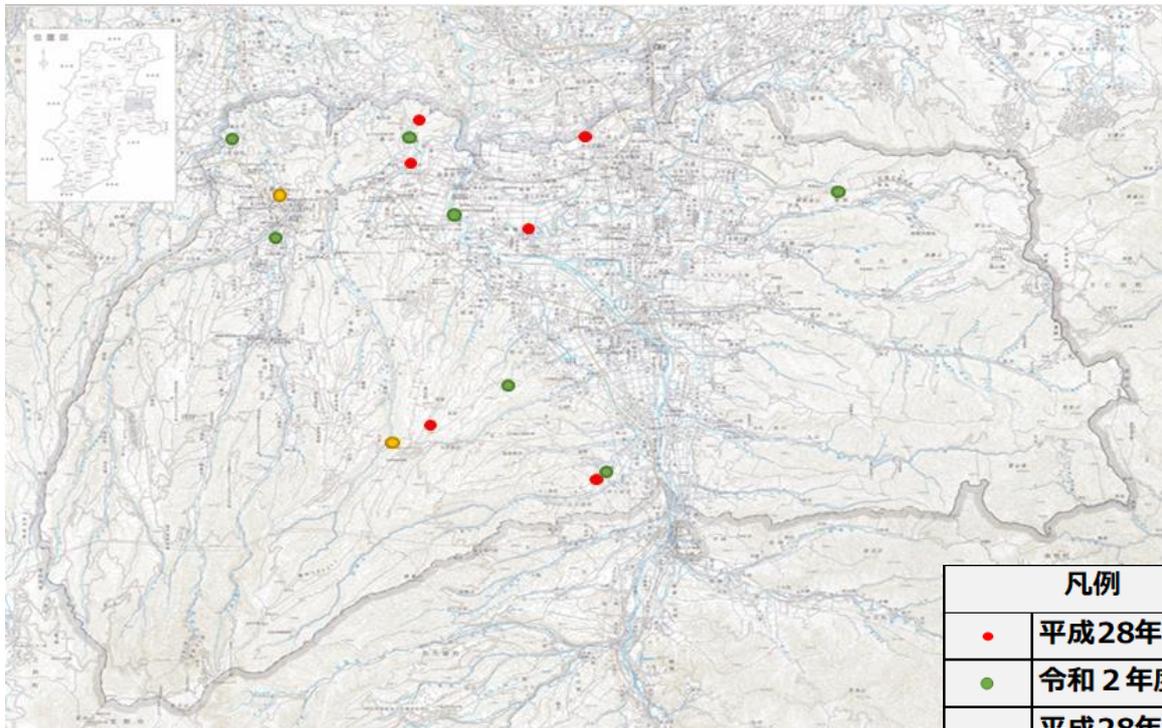
報告件数 15 件

#### 見つけた時期

(件)



## 分布図



凡例	
●	平成28年度
●	令和2年度
●	平成28年度と 令和2年度

フクロウは季節的な移動をしない留鳥です。

そのため、1年を通して見つけることができる可能性がありますが、その反面、夜行性の鳥であるため、見つけることが難しかったと思います。

報告場所は、望月や旧美笹自然観察園、香坂、桑山といった林の多い場所や、山間部での報告がほとんどでしたが、報告場所は市内のほぼ全域にわたっており、4年前の調査結果と比べると、生息地もそれほど変化がないように見受けられます。

鳴き声を聞いたという報告が多かったのですが、家の近くや学校など、身近な場所で聞いたという報告もありました。

### フクロウとミミズクの違いは？

「フクロウ」…フクロウ科に分類され、「○○フクロウ」と呼ばれるものを指す場合が多い。

「ミミズク」…フクロウ科のうち、頭に耳のように見える羽(羽角、耳羽)があり、「○○ズク」と呼ばれるものを指す場合が多い。

※ただし、「シマフクロウ」のように羽角があっても「フクロウ」と呼ぶものもいれば、「アオバズク」のように羽角がなくても「○○ズク」と呼ぶものもあります。

## 2 オオムラサキ

### 特徴

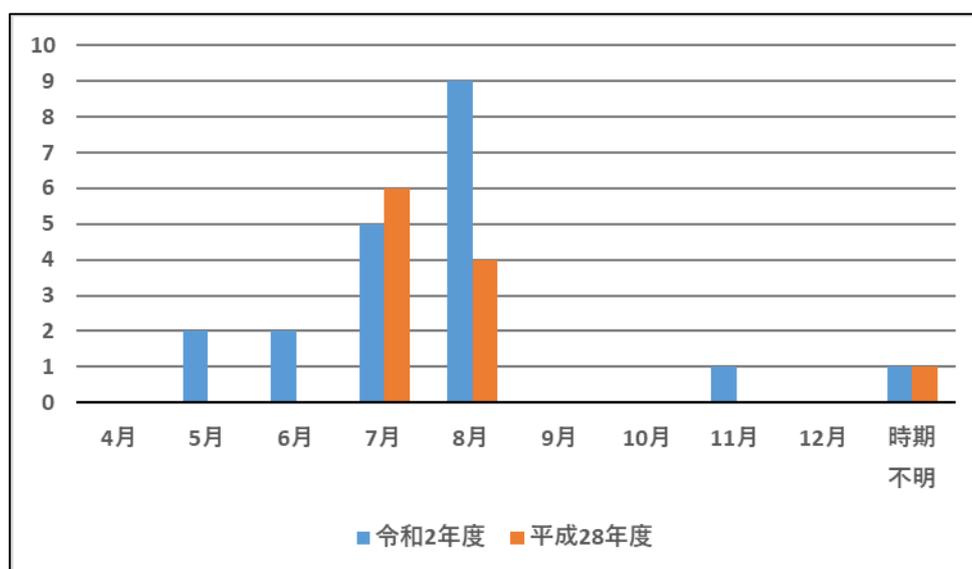
- ・チョウ目タテハチョウ科
- ・大きさは5 cm 程度
- ・成虫は樹液などをエサとし、  
幼虫はエノキなどの木の葉をエサとする
- ・環境省レッドリスト 準絶滅危惧種



報告件数 20 件

### 見つけた時期

(件)

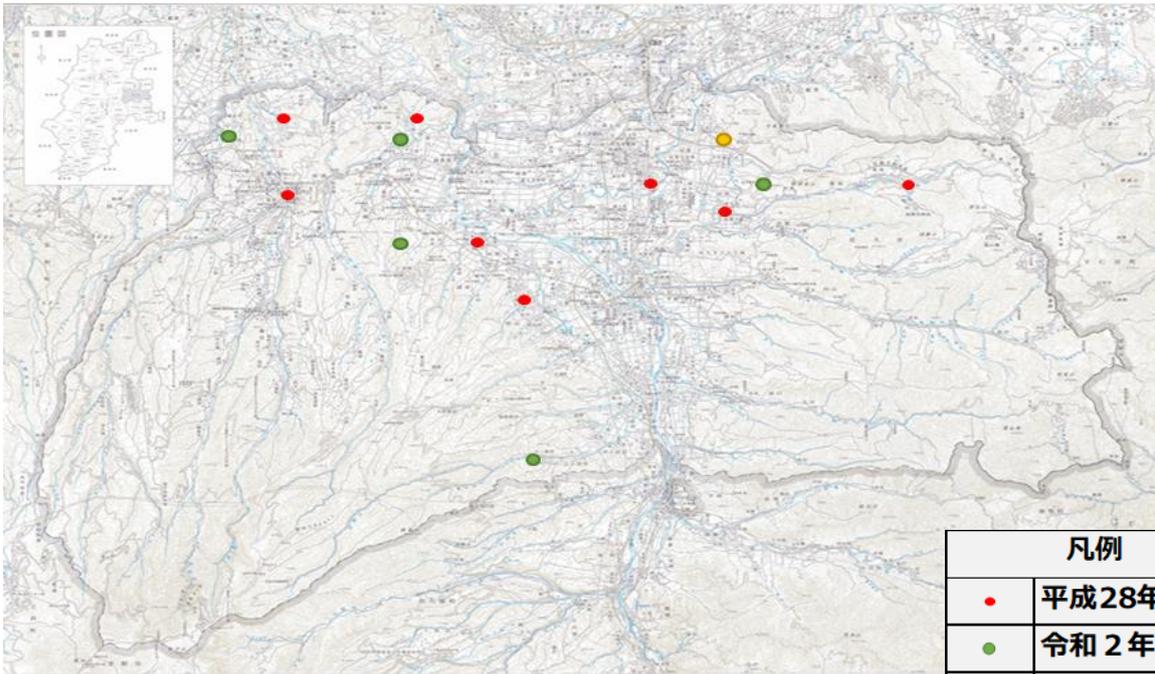


都市化が進み、雑木林が少なくなってきたことで、個体数の減少が危惧される生きものです。成虫は、6月下旬から7月下旬に羽化し、8月に産卵すると、親蝶は死んでしまいます。そのため、報告時期が7月～8月に集中していると考えられます。

また、今回は山間部での報告が多く、オオムラサキの生育にかかわる樹木(エノキやクヌギ等)がある可能性の高い環境での報告が多くありました。

報告地点数は減っているものの、報告件数は前回より増えているので、オオムラサキを知る人も増えている可能性があります。

## 分布図



凡例	
●	平成28年度
●	令和2年度
●	平成28年度と 令和2年度

## 調査員からの写真



平尾山(オスとメス)



根岸(オス)



茂田井(オス)



平尾山(メス)

**オス**と**メス**ではこんなにも

色が違います！

### 3 サクラソウ



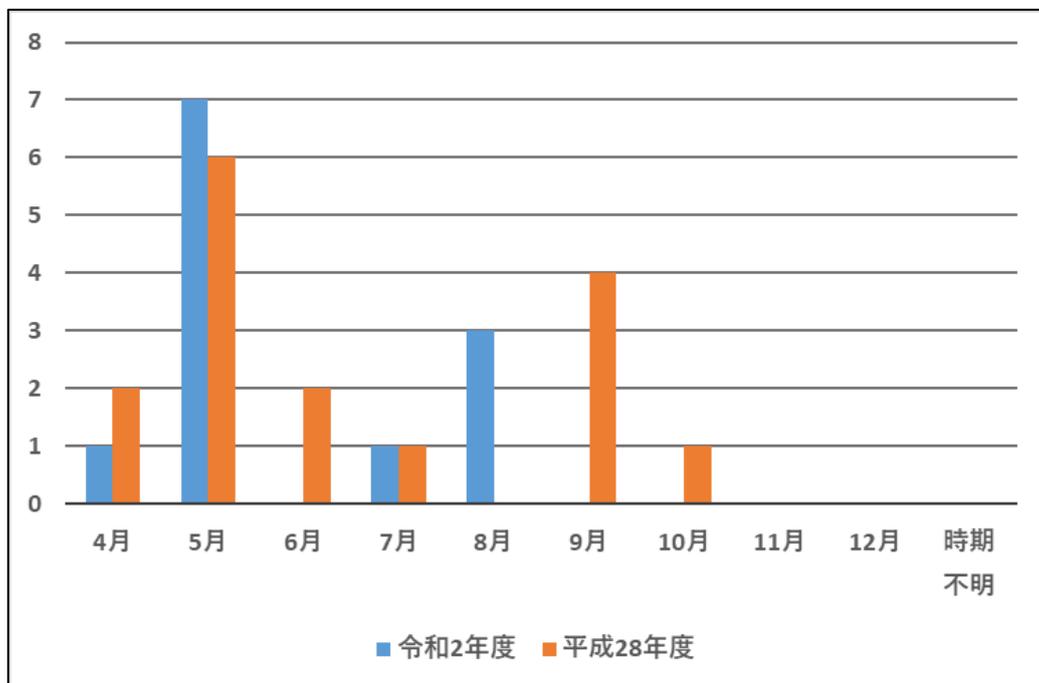
#### 特徴

- ・ サクラソウ目サクラソウ科
- ・ 花期は4～5月
- ・ 花はサクラに似ていて、多くの園芸品種が生まれているが、野生のものは絶滅が危惧されている
- ・ やや湿性の草地が適地だが、生育地が減っている
- ・ 環境省レッドリスト 準絶滅危惧
- ・ 長野県版レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類

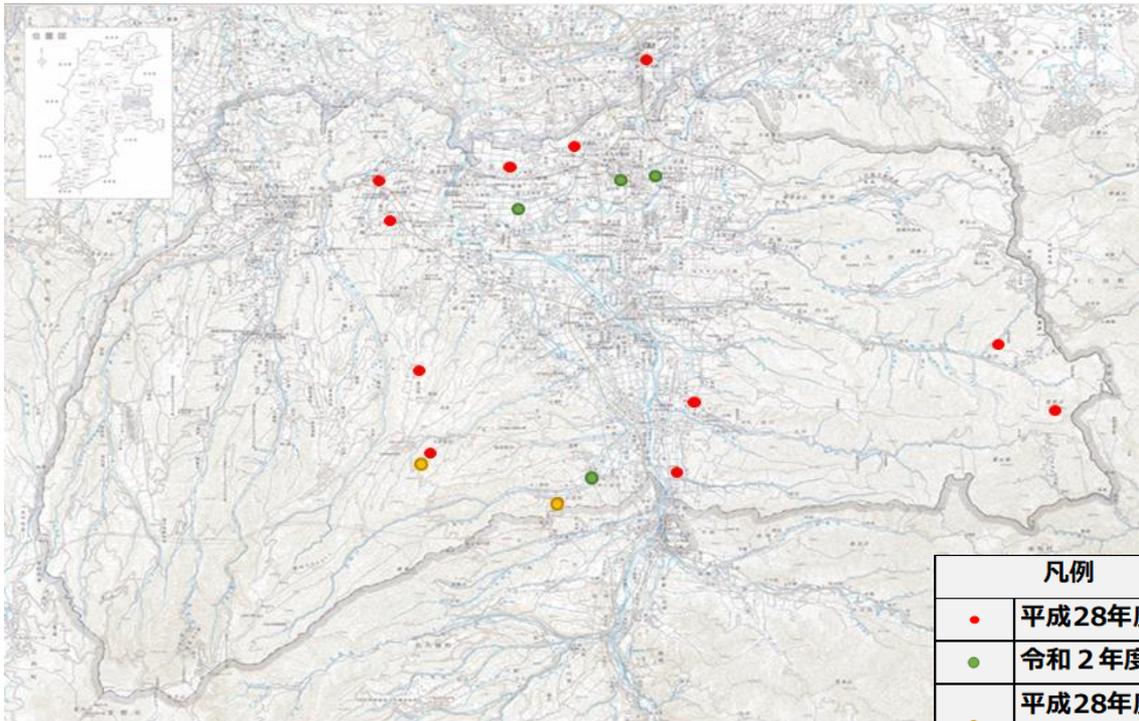
報告件数 12 件

#### 見つけた時期

(件)



## 分布図



サクラソウは多年草であるため、何らかの理由により完全に枯れてしまわない限りは毎年同じ場所で見ることができます。

また、寒さに強い種であるため、佐久の気候に適した植物の1つと言えます。

今回の報告は、旧美笹自然観察園周辺が1番多かったものの、家の庭や道路などでの報告もありました。

## 調査員からの写真



旧美笹自然観察園

## 4 バッタ類

### 特徴

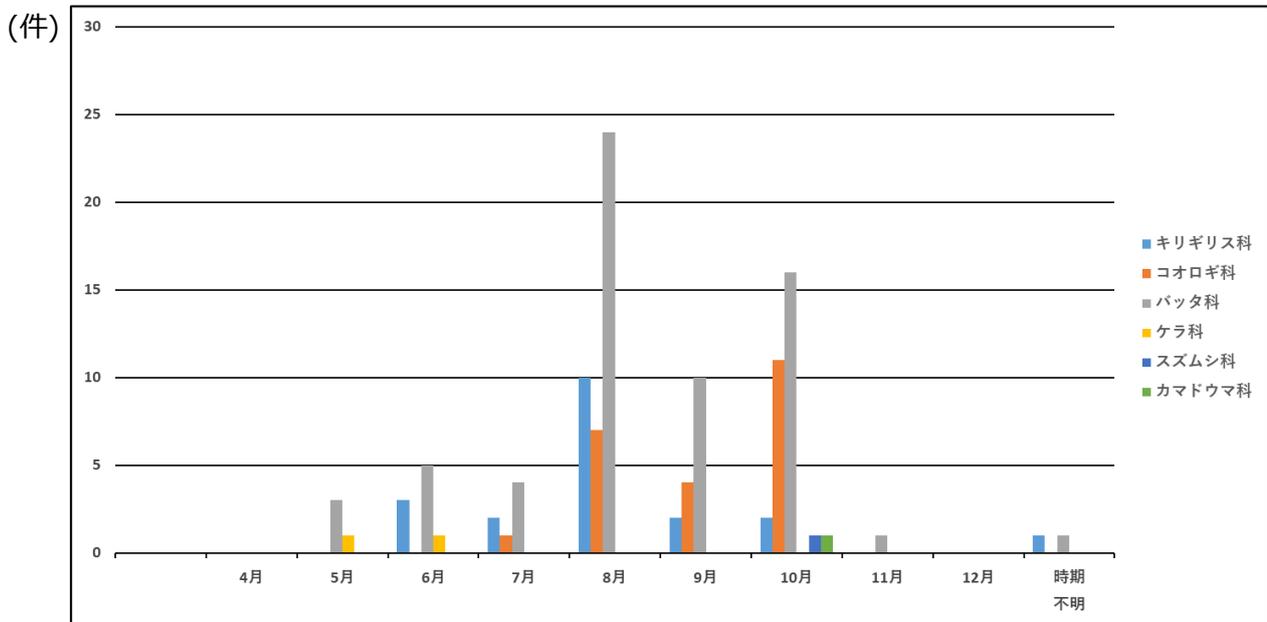
- ・バッタの仲間は大きく分けると、
  - 髪の毛のように細長い触角をもつ  
キリギリス亜目
  - 太くて長い触角をもつバッタ亜目  
に分けることができる
- ・トノサマバッタなどは大量発生し、植物を食べ尽くす「こう害」を引き起こすこともある



今回は、平成28年度に調査を行っているイナゴ科と、その他バッタ類に分けて報告しています。

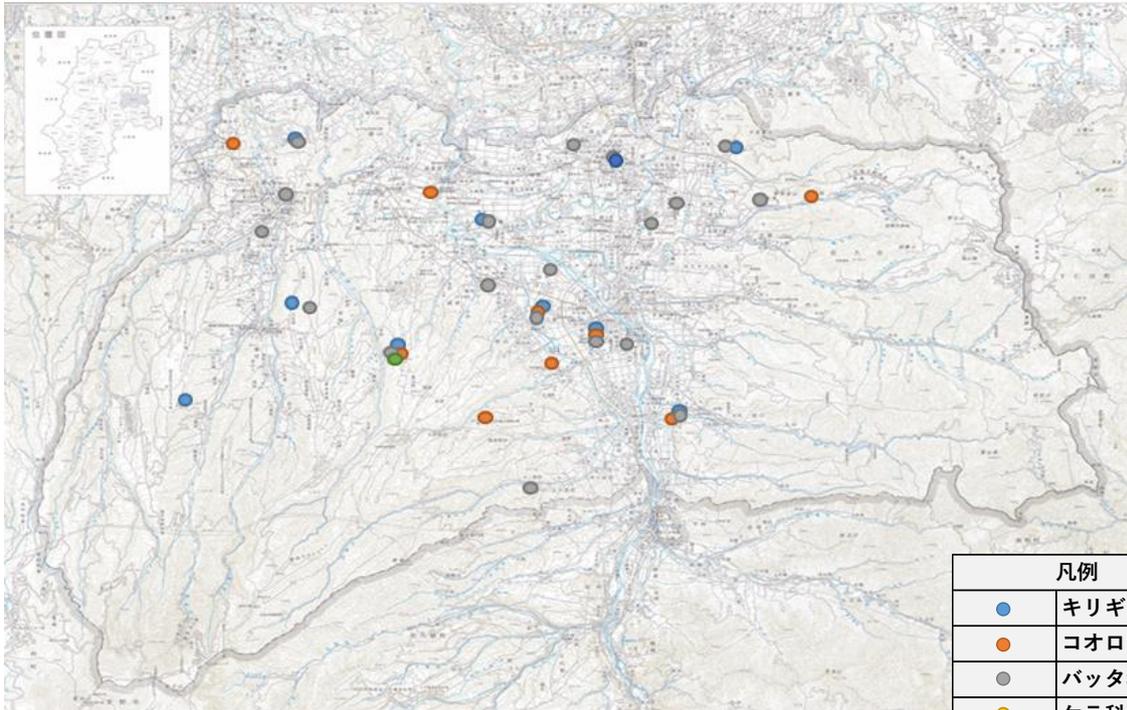
**報告件数(イナゴ科を除くバッタ類)**      107 件

### 見つけた時期



イナゴ科以外の報告の内訳は、キリギリス科が 20 件、コオロギ科が 23 件、バッタ科(〇〇バッタ科含む)が 60 件、ケラ科が 2 件、スズムシ科が 1 件、カマドウマ科が 1 件となりました。

## 分布図



凡例	
●	キリギリス科
●	コオロギ科
●	バッタ科
●	ケラ科
●	スズムシ科
●	カマドウマ科

6、7月頃から11月頃まで見られるキリギリス科とバッタ科、8月頃から11月頃まで見られるコオロギ科は、山間部から田んぼや学校、家の庭など、市内の様々な場所で見られました。

山々に囲まれた場所や田んぼが広がる場所、食料となる草が茂っている場所などでは、同一か所で複数の科の報告がある場所もありました。

## 調査員からの写真



キリギリス(東立科)



エンマコオロギ(東立科)

# イナゴ科

## 特徴

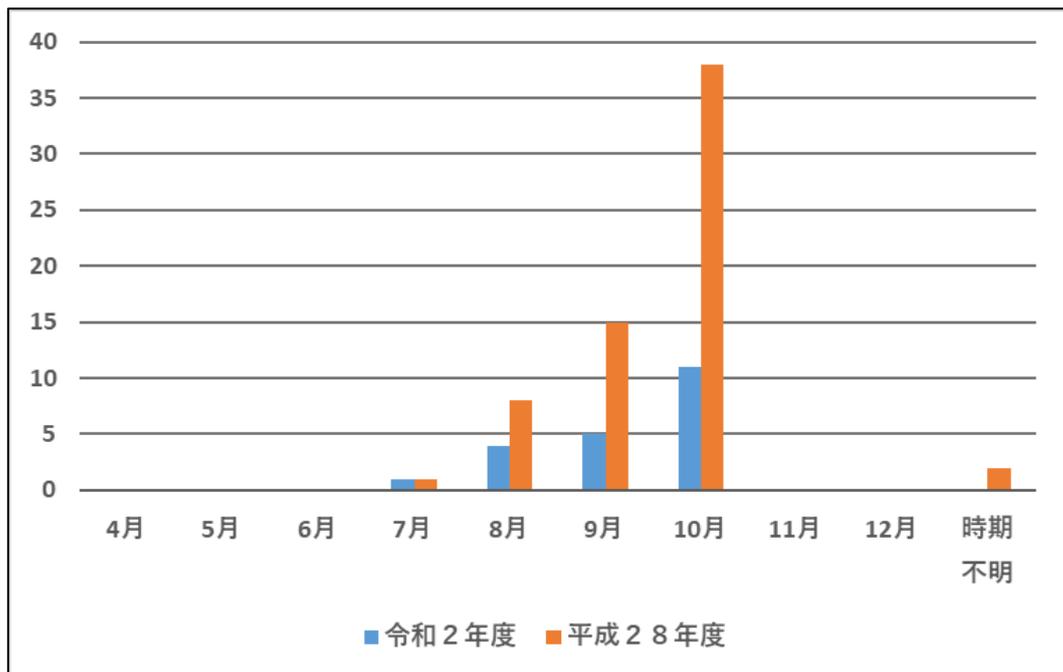
- ・バッタ亜目
- ・大きさは3 cm 程度
- ・イネ科植物をエサとする
- ・水田やその周辺の草地でよく見られる
- ・栄養価の高い食材として、佃煮などで食べられている地域もある



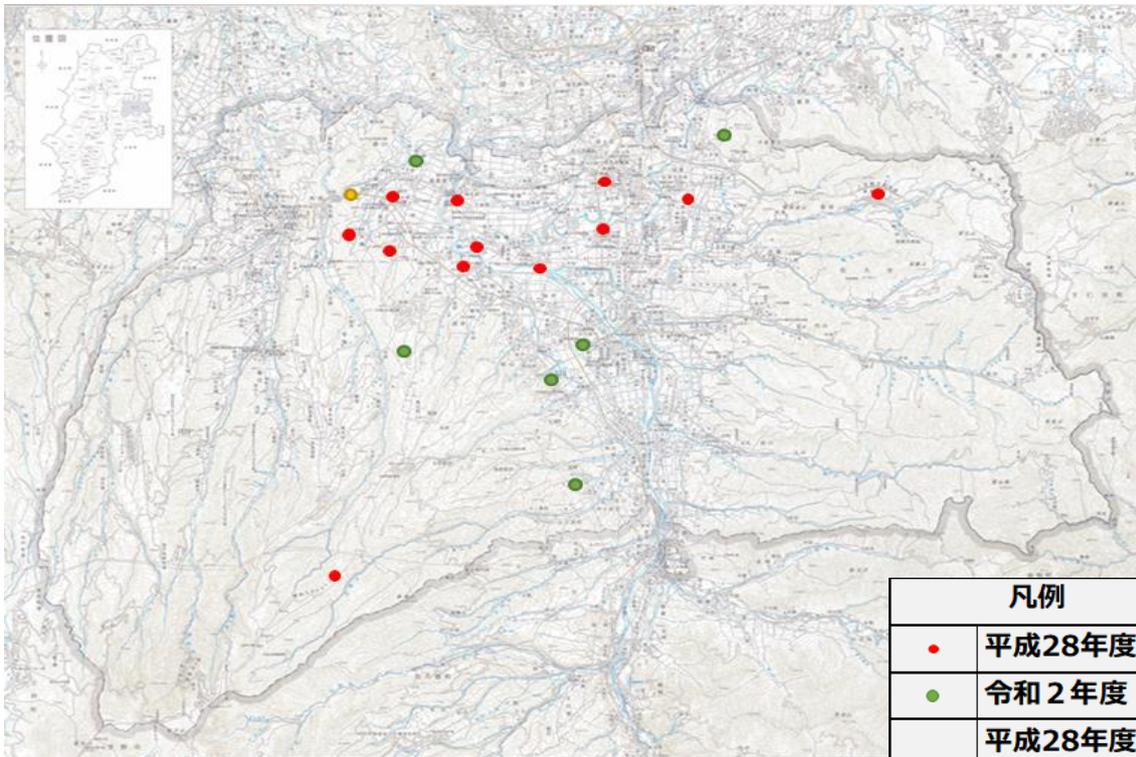
報告件数 21 件

## 見つけた時期

(件)



## 分布図



凡例	
●	平成28年度
●	令和2年度
●	平成28年度と 令和2年度

海のない佐久市では、昔から貴重なタンパク源として食べられていました。子どもの頃、秋になると保育園や小学校で採りに行ったことのある方も多いと思います。

イナゴ科は8月から11月に見られますが、その中でも10月に報告数が多いのは、稲刈りで主な生息場所である田んぼに行く機会が多くなり、結果として報告数が多くなったことや、この時期にイナゴの活動が活発になっていることなどが考えられます。

### バッタ目

バッタ目(直翅目)は、バッタやイナゴ、キリギリスやコオロギなどの仲間が属しています。バッタ目の中には、バッタ亜目とキリギリス亜目という分類があります。

○バッタ亜目……………バッタ科、イナゴ科など

○キリギリス亜目…キリギリス科、コオロギ科、ケラ科、スズムシ科、カマドウマ科  
など

## 第2章 調査対象種以外

報告件数 1,158件 (全報告数1,333件の内数)

### 2-1 昆虫類

報告件数 562件 / 1,158件中

	種類	発見場所 (発見日)
1	アオカナブン	榛名平公園(8/6)
2	アカエグリバ	野沢(11/9)
3	アカジマトラカミキリ	平尾山(9/18)
4	アカタテハ	平尾山(7/21)
5	アカトンボ	中込(10/2)、浅科(10/4) 他 19 か所(6月~10月)
6	アキアカネ	横和(7/26)、内山(8/16) 他 2 か所(10/11)
7	アゲハチョウ	平賀(8/16)、虚空蔵山(8/16) 他 18 か所(5月~10月)
8	アサギマダラ	平尾山(10/7) 他 1 か所(8/5)
9	アサヒナカワトンボ	旧美笹自然観察園 (5/25)
10	アサマイチモンジ	杉の木貯水池(8/13)
11	アシナガバチ	浅科(10/23)、内山(8/14) 他 2 か所(5/15、8/5)
12	アブ	野沢(7/1、8/13) 他 1 か所(8/5)
13	アブラゼミ	駒場公園 (8/22) 他 2 か所 (8/4、8/9)
14	アメリカシロヒトリ	猿久保(8/18)
15	アメンボ	大沢(8/16)、野沢(6/19) 他 4 か所(5/16、5/26、6/21、8/5)
16	アリ	泉小(6/8)、岩村田(6/28) 他 23 か所(4月~10月)
17	アリジゴク	1 か所(5/10)

18	イトトンボ	鍛冶屋(8/11)、旧美笹自然観察園(5/25) 他4か所(5/16、6/12、8/18、9/11)
19	イモムシ	3か所(5/11、8/15、10/5、10/11)
20	ウスキツバメエダシャク	取出町(10/4)
21	ウスバカゲロウ	本牧(11/29)
22	ウラギンヒョウモン	平尾山(7/19)、杉の木貯水池(9/9)
23	オオカマキリ	1か所(11/7)
24	オオクワガタ	切原小裏山(6/28) 他1か所(7/4)
25	オオシオカラトンボ	虚空蔵山(8/16)
26	オオシマトビケラ	桜井(8/11)
27	オオスズメバチ	1か所(5/15)
28	オナガアゲハ	平尾山(8/12)
29	オニヤンマ	田口小(7/15)、大沢(8/30) 他11か所(7月~10月)
30	オビガ	中込(9/17)
31	カ	コスモホール(9/11) 他6か所(7月~10月)
32	ガ	4か所(5/9、8月、8/10、8/17)
33	カナブン	平尾山(8/17)、榛名平公園(8/2)
34	カノコガ	1か所(7/26)
35	カブトムシ	高瀬小(7/14)、パラダ(7/16、7/26、8/4) 他13か所(7月~10月)
36	カマキリ	御馬寄(10/1)、岩村田(6/20、8/27、10/20) 他28か所(6月~10月)
37	カミキリムシ	中佐都小(5/17) 他5か所(7/12、8/3、8/8、8/10、8/17)
38	カメムシ	2か所(10/18、11/3)
39	カラスアゲハ	野沢(8/2、8/4、8/5、8/14、8/16) 他2か所(8/22、9/11)
40	キアゲハ	佐久市民交流広場(8/13)、コスモタワー(8/14) 他2か所(6/6、6/28)
41	キタテハ	杉の木貯水池(6/12)
42	キンキチョウ	1か所(4月)
43	ギンボシヒョウモン	杉の木貯水池(6/5)
44	キンモンガ	旧美笹自然観察園(8/3、8/8)
45	ギンヤンマ	泉小(5/8)、旧美笹自然観察園(8/8)、

		駒場公園のプール(8/17)
46	クジャクチョウ	平尾山(5/22)
47	クマバチ	野沢(8/12、8/13) 他1か所(8/6)
48	クロアゲハ	雨川ダム(8/2)、駒場公園のプール(8/17) 他4か所(5/10、5/15、7/1、8/19)
49	クロヒカゲ	平尾山(6/29)
50	クワガタ	八幡神社(8/14)、塩名田(9月) 他6か所(6/23、7/10、7/27、7/28、8/7、8/15)
51	ケムシ	1か所(8/15)
52	ゲンゴロウ	菖蒲平公園(8/18) 他1か所(9/3)
53	コオイムシ	塚原(8/1)
54	コガネオオハリバエ	1か所(5/12)
55	コガネムシ	野沢(8/4、8/9、8/14)
56	コガムシ	塚原(8/1)
57	コクワガタ	切原小裏山(6/6)、浅科(8月) 他3か所(8/13、10/7、10/12)
58	コシアキトンボ	旧美笹自然観察園(7/19)
59	ゴマダラカミキリ	佐久総合体育館裏(7/14)
60	コムラサキ	平尾山(7/3)、榛名平公園(7/31)、五稜郭(10/2)
61	サカハチチョウ	1か所
62	シオカラトンボ	駒場公園(7/19)、平尾山(8/7)、常和(8/13) 他3か所(8/11、8/17、8/19)
63	シデムシ	駒場公園(8/4)
64	ジャコウアゲハ	平尾山(6/9、6/10、6/12、6/24)
65	ジャノメチョウ	横和神社(7/26)、平尾山(8/7)
66	ショウジョウトンボ	駒場公園(7/19)
67	スジグロシロチョウ	香坂(8/3)、平尾山(8/7)
68	スズメバチ	湯原(8/3)、中込(9/30)、パラダ(10/11) 他5か所(5/15、8/30、9/12、10/2、10/10)
69	スミナガシ	榛名平公園(8/2)、平尾山(8/7)
70	セイヨウミツバチ	野沢(8/4)
71	セグロアシナガバチ	1か所(8/11)
72	セミ	新海三社神社(8/6)、泉団地(7/27)、田口小(7/15) 他15か所(6/14、6/16、8/4、8/6、8/7、8/9、8/10、8/11、8/12、8/13、8/14、8/17、8/18)
73	タガメ	切原小(9/11)

74	チカラカゲロウ	1 か所(5/12)
75	チョウ	さくらさく小径(8/13)、コスモタワー(8/15) 他 22 か所(5月~10月)
76	チョウトンボ	旧美笹自然観察園(8/10、8/21)
77	ツノアオカメムシ	中込(10/6)
78	ツマグロオオヨコバイ	平尾山(10/7)、中込(12/7)
79	ツマグロヒョウモン	平尾山(8/2、8/5)、下小田切(8/21)、 さくらさく小径(9/30、10/1)、上平尾(10/11)
80	テングチョウ	平尾山(6/23)
81	テントウムシ	切原小(6/11、8/2) 他 7 か所(5/16、5/23、10/7、10/14、10/18、 11/7)
82	トンボ	伊勢林(10/14)、泉団地(9/17)、五稜郭(10/2) 他 48 か所(5月~10月)
83	ナツアカネ	新海三社神社(8/6)、旧美笹自然観察園(8/8)
84	ナナフシ	1 か所(10/7)
85	ナナホシテントウ	2 か所(5/20、6/22)
86	ナミテントウ	駒場公園(8/3) 他 1 か所(5/12)
87	ニイニイゼミ	平尾山(7/24)
88	ネキリムシ	1 か所(4/28)
89	ノコギリクワガタ	布施(8/2)、泉小(10/8) 他 2 か所(7/14、10/12)
90	ハエ	2 か所(8/19、9/1)
91	ハグロトンボ	鼻顔稲荷神社(8/7)、臼田(8/14)
92	ハチ	浅科小(10/23)、臼田(8/7) 他 24 か所(5月~11月)
93	ヒオドシチョウ	平尾山(6/21)
94	ヒグラシ	平尾山(7/20)
95	ヒトリガ(さなぎ)	1 か所(11/1)
96	ヒメアカタテハ	杉の木貯水池(6/14)
97	ヒメウラナミジャノメ	杉の木貯水池(5/31)
98	ヒメガムシ	塚原(8/1)
99	フタスジチョウ	鼻顔稲荷神社(8/7)
100	ベニモンマダラ	平尾用水(6/1)、パラダ(8/11)
101	ヘビトンボ	平尾山(7/22)
102	ホシホウジャク	平尾山公園(10/26)
103	ホシミスジ	さくらさく小径(6/12)、杉の木貯水池(6/14)、

		香坂(8/3)
104	ホソミオツネトンボ	平尾山(5/4)、旧美笹自然観察園(5/25)
105	ホタル	上小田切、望月(6/27) 他3か所(6/27、7/3、7/12)
106	マダラヒメバチ	中込(8/5)
107	マメコガネ	旧美笹自然観察園(8/8)
108	ミツバチ	田口小(5/7)、中嶋公園(8/13) 他15か所(4月~10月)
109	ミヤマアカネ	平尾山(8/19)
110	ミヤマカラスアゲハ	旧美笹自然観察園からサンピア佐久の間(7/24)
111	ミヤマクワガタ	榛名平公園(8/6)、さくらさく小径(8/20)、 泉団地(9/23)
112	ミンミンゼミ	コスモタワー(8/14)、平尾山(8/17) 他3か所(7/20、8/7、8/15)
113	ムネアカオオアリ	駒場公園(8/3)
114	ムラサキシジミ	野沢小の畑(8/11)
115	モンキチョウ	泉小(10/12) 他5か所(8/7、8/8、8/17、10/18、不明)
116	モンシロチョウ	佐久平浅間小(6/12)、臼田(8/14) 他33か所(5月~10月)
117	ヤゴ	4か所(5/17、6/21、8/18、11/10)
118	ヤマトゴキブリ	中佐都(8/5)
119	ヨツボシトンボ	1か所(8/2)
120	ルリタテハ	榛名平公園(8/2)
121	ルリボシカミキリ	虚空蔵山(7/31)



コムラサキ(平尾山)



チョウトンボ(旧美笹自然観察園)

## 考察専門員の先生からのコメント

### ○アメンボ

⇒「4本の足があって茶色だった」と報告してくれましたが、実は昆虫の足は6本あります。

アメンボも近くでよく観察してみると、目立つ4本の他に、頭の近くにもう2本の短い足があります。

### ○アブラゼミ

⇒「頭の近くに赤っぽいところがあった」と報告してくれました。赤い3つの点ではありませんでしたか？アブラゼミはよく目立つ複眼の他に「単眼」という目があるのです。

### ○オオクワガタ

⇒オオクワガタを見つけたのは大発見です。今度見つけた場合には、いつ、どこで、だれがつかまえたのかをラベルに書いて「標本」にしてみましよう。

### ○キンモンガ

⇒昼間に飛ぶ美しいガの仲間です。「調べてみたらガだった」という報告がありました。「調べる」というのはとても大事なことです。昆虫についての豆知識を増やすことができましたね。

### ○セミ

⇒「木に止まって鳴いていたのが聞こえた」目で見てつかまえなくても「生きものさがし」はできます。セミやキリギリスなどは鳴き声だけでも分かりますね。

### ○タガメ

⇒長野県では1960年代以降見つかっていないので、絶滅したと言われていいます。タイコウチの見間違いかもしれませんが、そうでなければ大発見ですね。

### ○ムラサキシジミ

⇒佐久市ではとても珍しいチョウです。普通は草や花の上でなく、雑木林で見られます。コナラやどんぐりのなる木の葉を幼虫が食べるからです。

## 2-2 植物類

報告件数 136件 / 1,158件中

	種類	発見場所(発見日)
1	アサガオ	鍛冶屋(8/16) 他2か所(8/13)
2	アサマヒゴタイ	平尾山(10/11)
3	アズマイチゲ	平尾山(4/15)
4	アヤメ	1か所(5/15、5/20)
5	イブキジャコウソウ	平尾山(6/21)
6	ネコジャラシ	野沢(7/14、8/19)
7	オトギリソウ	新海三社神社(8/6)
8	オドリコソウ	平尾山(5/29)
9	オミナエシ	岩村田(11/1)
10	オモダカ	さくらさく小径付近の水田(7/24)
11	カエデ	浅科小(10/23) 他1か所(8/9)
12	カボチャ	菱屋パン店付近(8/2)
13	カラハナソウ	虚空蔵山(10/2)
14	カワラサイコ	杉の木貯水池(6/14)
15	キク	1か所(9/7)
16	キツネノカミソリ	平尾山(8/12)
17	キバナアキギリ	平尾山(9/1)
18	ギンラン	平尾山(5/11、5/20、6/1)
19	ギンリョウソウモドキ	平尾山(9/13、9/23)
20	クガイソウ	平尾山(7/21)
21	クサフジ	旧美笹自然観察園(8/8)
22	クリ	田口小(10/7) 他1か所(10/13)
23	クリンソウ	1か所(5/20)
24	クルミ	1か所(10/13)
25	クローバー	1か所(6/12)
26	コケ	田口小(10/2)
27	コスモス	下原(9月)、布施(9/20)、御馬寄(10月初め)、 切原小付近(10/17) 他4か所(8月、8/4、8/18、10/11)
28	コナギ	さくらさく小径付近の水田(10/15)

29	サイハイラン	旧美笹自然観察園(6/15)
30	サクラ	臼田 他2か所(4月終わり、10/30)
31	ササバギンラン	平尾山(5/27)
32	サラシナショウマ	平尾山(10/11)
33	シナノタンポポ	旧美笹自然観察園(5/25、5/27)
34	シバザクラ	3か所(5/10、5/17)
35	ジュウニヒトエ	1か所(5/17)
36	シロスマレ	杉の木貯水池(4/26)、平尾山林道沿い(4/30)
37	シロツメクサ	コスモタワー(8/15) 他7か所(5/11、5/12、5/17、5/20、5/21、7/24)
38	シロバナエゾノタチツ ボスマレ	旧美笹自然観察園(5/25)
39	スイセン	1か所(5/1)
40	ススキ	1か所(10/11、11/3)
41	スズナ	1か所(5/11)
42	スズラン	1か所(5/16)
43	スマレ	1か所(5/11)
44	セイタカトウヒレン	虚空蔵山(8/16)
45	タイム	1か所(5/17)
46	タチツボスマレ	平尾山林道沿い(4/29)
47	タムラソウ	虚空蔵山(10/2)
48	タンポポ	湯原(5/16) 他3か所(5/20、6/12、10/17)
49	チューリップ	1か所(5/1)
50	ツクシ	1か所(6/12)
51	ツルカメバソウ	旧美笹自然観察園(5/25)
52	ツルニンジン	旧美笹自然観察園(8/31)
53	トチノキ	五稜郭(10/2)
54	トマト	野沢(8/16)
55	ドングリ	1か所(9/21)
56	ナス	1か所(8/16)
57	ナツツバキ	駒場公園(6/30)
58	ネジバナ	杉の木貯水池(7/12) 他1か所(8/5)
59	ノアザミ	1か所(8/5)
60	ノビル	1か所(5/11)

6 1	ノボリフジ	1 場所(5月)
6 2	ハギ	岩村田(11/1)
6 3	ハルジオン	2 場所(5/11、5/17)
6 4	ヒガンバナ	田口(10/2) 他 3 場所(10/7、10/11、10/14)
6 5	ヒナスミレ	平尾山林道沿い(4/29)
6 6	ヒマワリ	鍛冶屋(8/16) 他 3 場所(8/4、8/13、9/27)
6 7	ヒメオドリコソウ	1 場所(5/6)
6 8	ヒャクニチソウ	岩村田(11/2)
6 9	フジ	コスモタワー(8/15)
7 0	フデリンドウ	平尾山(5/4)
7 1	ヘチマ	泉小(8/5)
7 2	ヘビイチゴ	平尾山(7/19)
7 3	ホウズキ	浅科(9月)
7 4	ホタルブクロ	岩村田小(6/30)、横和神社(7/26) 他 1 場所(8/5)
7 5	マツ	1 場所(10/6)
7 6	マリーゴールド	インターウェーブ(8/12) 他 1 場所
7 7	ミズオオバコ	さくらさく小径付近の水田(9/9)
7 8	ミヤマスミレ	平尾山(4/15)
7 9	ムスカリ	1 場所(5/11、5/17)
8 0	モミジ	1 場所(8/4)
8 1	ヤマタツナミソウ	平尾山(6/29)
8 2	ヤマトリカブト	内山牧場(9/2)
8 3	ヤマユリ	1 場所(夏)
8 4	ユウスゲ	平尾山(8/7)
8 5	ヨツバ	1 場所(7/23)
8 6	ランキユラス	1 場所(5/11)
8 7	ルリヨウボタン	平尾山(6/21)
8 8	ワダソウ	旧美笹自然観察園(5/25)

## 調査員からの写真



オモダカ(さくらさく小径付近の水田)

シナノタンポポ(旧美笹自然観察園)



ホタルブクロ(平尾山)



ツルカメバソウ(旧美笹自然観察園)

## 2-3 魚類・両生類・は虫類

報告件数 125件 / 1,158件中

	種類	発見場所(発見日)
1	アオダイショウ	平尾山(6/29) 他2か所(6/17、10/10)
2	アカハライモリ	望月トンネル(11/9) 他2か所(6/12、10/29)
3	アマガエル	8か所(5/15、6/6、6/21、6/22、7/15、7/24、8/7、10/5)
3	イワナ	鹿曲川(8/17)
4	ウシガエル	1か所(5/12)
5	オタマジャクシ	泉龍院の田んぼ(6/7) 他2か所(6/3、8/18)
6	カエル (卵含む)	佐久平浅間小(9/29)、泉小(6/2) 他58か所(5月~11月)
7	カジカガエル	1か所(5/22)
8	カナヘビ	平尾山(4/29、6/12) 他11か所(5月~11月)
9	コイ	中嶋公園(8/13)、城山公園(8/14)、五稜郭(10/2) 他1か所(8/9)
10	サカナ(名称不明)	香坂川(8/12)
11	シマヘビ	1か所(7/10)
12	ジムグリ	1か所(7/8)
13	トカゲ	1か所(5/26、10/3、10/26)
14	ドジョウ	塚原(8/1)、矢嶋(8/11) 他3か所(8月、10/6、10/14)
15	トノサマガエル	1か所(8/5、9月)
16	ニホントカゲ	平尾山(6/29)、内山(8/5)
17	ヒブナ	鍛冶屋公民館付近(8/14)
18	フナ	片貝川(9/6) 他1か所(9/20)
19	ヘビ	6か所(5月~11月)
20	マムシ	1か所(6/9)
21	ミシシippアカミミ ガメ	平賀(7/27)
22	ヤマメ	野沢北高校付近(10/31)、他1か所(5/22)

## 調査員からの写真



ニホンカナヘビ(平尾山)



ニホントカゲ(平尾山)



ドジョウ(塚原)

## 2-4 鳥類

報告件数 227件 / 1,158件中

	種類	発見場所(発見日)
1	アオゲラ	旧美笹自然観察園(4/21)
2	アオサギ	杉の木貯水池(5/9、6/21、7/12、8/20、8/23、12/5)
3	アオジ	旧美笹自然観察園(4/21、6/15)、 滑津川と千曲川合流地点(4/17)
4	アカゲラ	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5)
5	アトリ	駒場公園(4/1)、旧美笹自然観察園(4/21)、 千曲川(10/15)、杉の木貯水池(12/5)
6	イカル	旧美笹自然観察園(4/21)
7	イソシギ	杉の木貯水池付近の滑津川(10/6)
8	ウグイス	旧美笹自然観察園(4/21)、稲荷山(5/7)、 大河原峠(6/21)、新海三社神社(8/6)
9	ウミネコ	杉の木貯水池(10/5)
10	エナガ	旧美笹自然観察園(4/21)、 杉の木貯水池付近の滑津川(10/28)
11	オオタカ	平尾山(6/10)、千曲川(10/15)
12	オオバン	杉の木貯水池(12/5)
13	オオヨシキリ	杉の木貯水池(6/21)
14	オオルリ	旧美笹自然観察園(4/21)、大河原峠(6/21)
15	オシドリ	滑津川(9/12)、杉の木貯水池(10/4)
16	オナガ	岩村田(6/21)
17	オナガガモ	杉の木貯水池(11/10、12/5)
18	カイツブリ	杉の木貯水池(10/5、11/10、12/5)
19	カケス	旧美笹自然観察園(4/21)
20	カシラダカ	平尾山(4/15)、杉の木貯水池(12/5)
21	カッコウ	湯原(5/10)、杉の木貯水池(6/12)、大河原峠(6/21)
22	カモ	田口小(5/7) 他3か所(5/12、8/2、8/7)
23	カラス	大沢(8/16) 他4か所(8/2、8/8、8/18、10/7、10/23)
24	カルガモ	杉の木貯水池(8/23、12/5)
25	カワアイサ	杉の木貯水池(12/5)
26	カワウ	雨川ダム(8/10)、杉の木貯水池(8/20、8/23、12/5) 他1か所(5/6)

27	カワガラス	水産試験場付近の千曲川(4/22、4/23、4/24、4/25)
28	カワセミ	杉の木貯水池付近の滑津川(4/11、11/4、12/5)
29	カワラヒワ	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5)
30	カンムリカイツブリ	杉の木貯水池(11/13、12/5)
31	キジ	熊野神社付近の山(4/20)、 内山牧場キャンプ場(5/17) 他9か所(5月~12月)
32	キジバト	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5)
32	キセキレイ	旧美笹自然観察園(4/21)、大河原峠(6/21)、 杉の木貯水池付近の滑津川(12/5)
33	キツツキ	旧美笹自然観察園(4/21)
34	キンクロハジロ	杉の木貯水池(12/5)
35	クサシギ	杉の木貯水池付近の滑津川(11/13)、 杉の木貯水池(12/5)
36	クロツグミ	旧美笹自然観察園(4/21)
37	ゴイサギ	杉の木貯水池(6/5、6/21、7/22、8/20)
38	コガモ	杉の木貯水池(11/15、12/5)
39	コゲラ	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5) 他1か所(5/25)
40	コサギ	杉の木貯水池(8/23、12/5)
41	ゴジュウカラ	旧美笹自然観察園(4/21)
42	コハクチョウ	杉の木貯水池(12/18、12/20)
43	コムクドリ	杉の木貯水池(4/28)
44	サギ	陽雲寺の裏山(5/10)
45	サンショウクイ	旧美笹自然観察園(4/21)
46	シジュウカラ	旧美笹自然観察園(4/21)、大河原峠(6/21)、 杉の木貯水池(12/5) 他2か所(4/21、7/15)
47	ジュウイチ	大河原峠(6/21)
48	ジョウビタキ	旧美笹自然観察園(4/21)、 杉の木貯水池(11/4、12/5)
49	シラサギ (シロサギ含む)	内山(8/10) 他4か所(5/10、8/1、10/11)
50	シロハラ	駒場公園(4/1)
51	スズメ	杉の木貯水池(4/28、12/5) 野沢(8/1)、稲荷山(5/7) 他5か所(5/9、5/17、8/16、10/2、10/10)
52	セイタカシギ	杉の木貯水池(8/22)

53	セキレイ	佐久医療センター(10/15) 他1か所(8/2)
54	セグロセキレイ	杉の木貯水池付近の滑津川(12/5)
55	ダイサギ	杉の木貯水池(8/20、8/23、12/5)
56	タカ	4か所(8/15、10/1、10/11、11/6)
57	チュウサギ	1か所(8/12)
58	チョウゲンボウ	杉の木貯水池付近の千曲川(5/5)、原(12/8)
59	ツグミ	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5)
60	ツツドリ	旧美笹自然観察園(4/21)
61	ツバメ	田口小(6/16、7/15)、上小田切(3月~9月) 他9か所(5/9、5/10、5/21、6/20、7/13、7/30、 8/1、8/3、8/8)
62	トビ	三河田(6/3)、大沢(8/16)、杉の木貯水池(12/5) 他2か所(7/19)
63	トモエガモ	杉の木貯水池(11/26)
64	トリ(名称不明)	野沢(8/12、8/19)
65	ノスリ	杉の木貯水池(12/5)
66	ハクセキレイ	さくらさく小径(7/24)、 杉の木貯水池付近の滑津川(12/5) 他1か所
67	ハシブトガラス	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5)
68	ハシボソガラス	旧美笹自然観察園(4/21)、杉の木貯水池(12/5)
69	ハチクマ	平尾山(6/10、6/16)
70	ハト	2か所(8/1、10/6)
71	バン	杉の木貯水池(9/24)
72	ヒガラ	大河原峠(6/21)
73	ヒドリガモ	杉の木貯水池(10/4、12/5)
74	ヒヨドリ	旧美笹自然観察園(4/21)、安原(7/7)、 杉の木貯水池(12/5) 他1か所(6/15)
75	ビンズイ	大河原峠(6/21)
76	ベニマシコ	駒場公園(4/1)、旧美笹自然観察園(4/21)、 杉の木貯水池(12/5)
77	ホオジロ	杉の木貯水池(6/6、12/5)
78	ホシガラス	大河原峠(6/21)
79	ホシハジロ	杉の木貯水池(12/5)
80	ホトトギス	大河原峠(6/21)
81	マガモ	杉の木貯水池(12/5)

82	マヒワ	駒場公園(4/1)
83	ミコアイサ	杉の木貯水池(12/5)
84	ミヤマホオジロ	杉の木貯水池(12/5)
85	ムクドリ	杉の木貯水池(12/5) 他1か所(10/20)
86	メジロ	駒場公園(4/1、4/5)、旧美笹自然観察園(4/21)
87	メボソムシクイ	大河原峠(6/21)
88	モズ	杉の木貯水池(9/17、12/5)
89	ヤマガラ	旧美笹自然観察園(4/21)
90	ヤマバト	1か所(9/27)
91	ユリカモメ	杉の木貯水池(4/5、5/23、10/5)、 杉の木貯水池付近の滑津川(11/14)
92	ヨシゴイ	杉の木貯水池(6/21)
93	ルリビタキ	大河原峠(6/21)

### 考察専門員の先生からのコメント

小学生からの報告では、報告の多かった種類はツバメ、スズメ、カラス、トビといった身近な里の鳥でしたが、それと同じようにシラサギやカモという水田で見られる鳥の報告も多かったです。また、キジの報告も多く、そのほとんどが家のそばで見かけたもので、子どもたちにとっても身近な鳥であることがうかがえます。耕作地が広がる佐久市ならではのことではないでしょうか。

一般の方からは、水辺の鳥に関する報告が多く、内陸にありながらも千曲川や東電の杉の木貯水池といった水辺環境をもつ佐久市の特徴が表れていると思います。

特に、佐久市では珍しいセイタカシギが報告されたのは貴重です。

また、6月に東電の杉の木貯水池にてヨシゴイを見つけたという報告がありました。ヨシゴイは長野県の絶滅危惧種に指定された小型のサギで、滑津川や洞源湖のガマの茂みで繁殖していましたが、数年前から見られなくなっていました。

オオタカ、ハチクマ、ノスリ、チョウゲンボウなどのタカ類も数例報告されました。生態系の頂点に立つタカ類の動向は今後見守っていく必要があります。



セイタカシギ（杉の木貯水池）



ヨシゴイ（杉の木貯水池）

調査員からの写真



カワセミ (杉の木貯水池付近の滑津川)



ヒヨドリ (安原)

エナガ (滑津川付近の林)



コハクチョウ (杉の木貯水池)



カッコウ (杉の木貯水池)



メジロ (駒場公園)



ジョウビタキ (杉の木貯水池)

## 2-5 ほ乳類

報告数 28件 / 1,158件中

	種類	発見場所(発見日)
1	イタチ	荒宿(8/24)
2	カモシカ	1か所(8/10)
3	コウモリ	塩名田(10月後半)、浅科小(8/13) 他2か所(5/6、8/19、10/6)
4	サル	望月少年自然の家の付近の山(6/27)
5	シカ	陽雲寺の裏山(5/10) 他5か所(6/5、7/5)
6	タヌキ	みはらしの湯の付近(6/15)、塩名田(8月くらい)、 矢嶋(10/1) 他2か所(11/2)
7	ニホンノウサギ	1か所(7/30)
8	ネコ	5か所(5/19、8/15、8/18、10/10、10/22)
9	モグラ	1か所(4/29)
10	ヤマネ	山荘あらふね(6/25)
11	リス	浅科小(10/23)

国の特別天然  
記念物

国の天然記念物

### 天然記念物とは？

天然記念物は動物、植物などの自然物で、国にとって学術上価値の高いもののうち、重要なものを指します。天然記念物の中でも特に重要なものについては、特別天然記念物に指定されています。

天然記念物を守ることは、地域の自然とそれにまつわる文化を守ることであり、天然記念物の価値を明らかにして生かすことで、人々の自然観や地域とのつながりをはぐくむことができます。

### 考察専門員の先生からのコメント

小学生から報告のあった野生動物は、シカ、コウモリ、タヌキなどが多かったです。夜行性で見かけにくいにもかかわらず、子どもたちの目に留まったことから、かなりの数が人里に生息していると考えられます。

## 2-6 その他

報告数 80件/1,158件

	種類	発見場所(発見日)
1	オニグモ	弥生が丘の裏山(10/18)
2	カタツムリ	5か所(6/16、7/4、7/16、10/9)
3	カニ	塩名田、矢嶋(8/11)、香坂川(8/12) 他5か所(6/26、8月頃、9月中旬、10/2、10/4)
4	カワニナ	1か所(8/7)
5	クモ	泉(10/7) 他13か所(5月~10月)
6	クリイロベッコウ	平尾山(6/12)
7	コガネグモ	本牧(12/1)
8	ザリガニ	貞祥寺付近(9/5)
9	サワガニ	田口小(4/24) 他8か所(6/9、6/12、6/21、8/4、8/7、10月、10/2、10/6)
10	ジョロウグモ	野沢(8/11、10/11)
11	タニシ	大塚団地付近の田んぼ(5/18)、香坂川(8/12)
12	ダンゴムシ	12か所(5月~9月)
13	ナメクジ	カトリック幼稚園(8/12) 他1か所(8/16)
14	ヒメベッコウ	平尾山(6/12)
15	ハウネンエビ	1か所(6/16)
16	マダラコウラナメクジ	鍛冶屋(6/19)、原(6/20、6/30)
17	ミスジマイマイ	1か所(5/26)
18	ミミズ	さくらさく小径の小川(7/12)、臼田(8/2) 他9か所(5/10、5/13、6/6、7/19、8/3、8/4、8/11、10/9、10/18)
19	ムカデ	岩村田(6/21、10/17)
20	モエギザトウムシ	1か所(8/12)
21	ワラジムシ	1か所(5/13)

## 調査員から寄せられたメッセージ

(個人情報保護等のため一部変更、省略しています。)

- ・私は、あまり生物が好きじゃないけど、この生きもの探しをしたり観察したりして、あまり好きじゃない生きものを触ったりして、少し生きものが好きになりました。花などは好きですが、あまり種類などを知らなかったけど観察をして、図鑑で調べて、あまり知らない花などもちゃんと知ることができました。もっと学校などにある木や花、生きものを見つけたら、色々な物で特徴などを調べてみたいと思います。私が一番びっくりしたのは、バッタなどにも色々な色があるということです。これからも生きものを大切にしたいです。
- ・お父さんと弟と一緒に川などに行って、カニが思ったよりも小さくて、いっぱいいた。タニシは田んぼにいたと思ったけど、川にいたとは思わなかった。思ったよりも小さくて、きれいなタニシがいっぱいいた。
- ・生きものは、自分の特技をもっていることがわかりました。例えばバッタは、はねをひろげて、とおくまで、とぶことができることです。いろいろな場所に行って生きものをたくさんみつけれられたので、うれしいです。
- ・虫が(以前より)少なくなってきていて、悲しい。以前オオムラサキが生息していた場所にとりに行ったが、いなくて残念だった。
- ・イナゴ、バッタは自分が子どもの頃友達と一緒にイナゴ取りに行った。今はようやく1~2匹くらいしか見られなくなった。
- ・生きもの調査シートで、いろいろな虫など生きものの特徴、それに、何センチかなどいろいろなことがわかりました。私が書いた中でよく知りたいのは、クワガタのことです。他にもいろいろな虫の名前や特徴などそういうのが知りたいです。他にも、テントウムシ、それにチョウチョがよく飛んでいます。これからも昆虫のことをもっと知りたいです。
- ・僕の家庭だけでもいっぱいいてびっくりした。今度は家の庭だけでなくいろいろなところで生きものをさがしてみたいです。
- ・いろいろな虫を見つけたけどまだ見たことがない生きものもいるから見てみたい。生きものはたくさんいるんだなあと思った。私が見つけたのは身近なものしか見つけられなかったので、もっと珍しい生きものを見つけてみたい。

## 考察専門員の先生から

### ・金子 順一郎 先生（昆虫類）

オオムラサキは日本の国を代表する蝶、「国蝶」です。日本には北海道から九州まで広く分布し、里山を好みます。身近な自然の豊かな佐久市では、ちょっとした雑木林でもその姿がしばしば見られます。子供たちに人気のカブトムシと一緒に樹液に集まるので、もう少し報告例があるかとも思ったのですが、樹液に蝶がいるとは思われずに見過ごされてしまったのかもしれない。普通佐久市では早くても6月下旬から成虫が見られるようになりますので、5月の記録は驚きですね。昨冬の記録的な暖冬の影響でしょうか。フジバカマの花に来ていると報告してくれた方もおられますが、「アサギマダラ」と名前を勘違いされたのかもしれない。

バッタの仲間は佐久市内のかなり広い範囲で見つかりました。キリギリスやオンブバッタが多かったのではないのでしょうか。ツマグロバッタも佐久市内では多い種類です。ところが、イナゴに限ってみると、意外と発見場所が少なくなります。イナゴを「食料」として捕まえたことがある人は、田んぼの近くじゃないと見つからない、と思ったのかもしれないね。よく食べられるイナゴには、「コバネイナゴ」と「ハネナガイナゴ」の2種類があり、実はどちらも田んぼ以外でも見られます。また、キリギリスは姿が見られなくても、鳴き声だけであることが確認できると思います。

### ・中山 洌 先生（植物類）

サクラソウの野生種は、山麓や川岸の湿地の多い草原に生える多年性の草本なのです。そんな場所でも人の手が加わると、サクラソウはどんどん消えていきます。現在、佐久市内でも、こんな環境は旧美笹自然観察園のような山奥にしかありません。そのため、人家の近くに見られるものは植栽されたものが多く見られます。その上さらに困難なことは、サクラソウの野生種の他に、サクラソウの園芸種が多く出回っていますので、家の庭や道の隅などは、すべて植栽されたものか、それらが増えたものと考えられます。

## ・木内 清 先生（鳥類）

フクロウは数が少なく、しかも夜行性という難しさがあるにもかかわらず、15件の報告がありました。

また、小学生が、日常生活の中で目に留まった鳥について情報を寄せてくれました。それを通して、子どもたちが身近な自然に目を向け、親しんでほしいと思います。また、鳥類の生態に詳しい2人の市民の方から、四季にわたる観察記録を寄せていただきました。佐久市の鳥類の生息地としてポイントとなる千曲川、東電杉の木貯水池、旧美笹自然観察園、大河原峠、平尾山、駒場公園などを網羅しており、鳥類の現況が分かる貴重な資料であると思います。

## まとめ

今回の調査では、調査対象種すべてに報告があり、また、平成28年度に調査した時よりも報告件数が多かったものがありました。その他の生きものに関しても、身近な生きものから珍しい生きものまで、様々な報告をいただきました。このことから、佐久市には多様な生物が生息しており、多様な環境もあることが考えられます。

様々な場所で生きものが発見されるようになった一方、種によっては「以前より数が減った気がする」「前に見られた場所で見られなくなった」というような声もありました。ヨシゴイのように、以前は佐久市にいた生きものも、環境の変化によっていなくなってしまうことは珍しくはありません。

今回の調査で見つかった生きものも、その希少価値に差はあるのかもしれませんが、身近にいる生きものを大切にしようと考えていただくきっかけになれば幸いです。

また、調査の感想として、「いろいろな生きものがいることが分かった。」「次もさがしてみたい。」といった声を多くいただくことができました。

佐久市の多種多様な生物や生息環境を守っていくため、今後も定期的に経過を観察していきたいと思います。

最後になりますが、ページの都合によりお寄せいただいた写真や感想のすべてをご紹介できませんでしたことをお詫びいたします。

今年度も多くの皆様に調査にご協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

(文責:環境政策課)





編集

佐久市役所 環境部 環境政策課

電話 : 0267-62-2917

FAX : 0267-62-2289